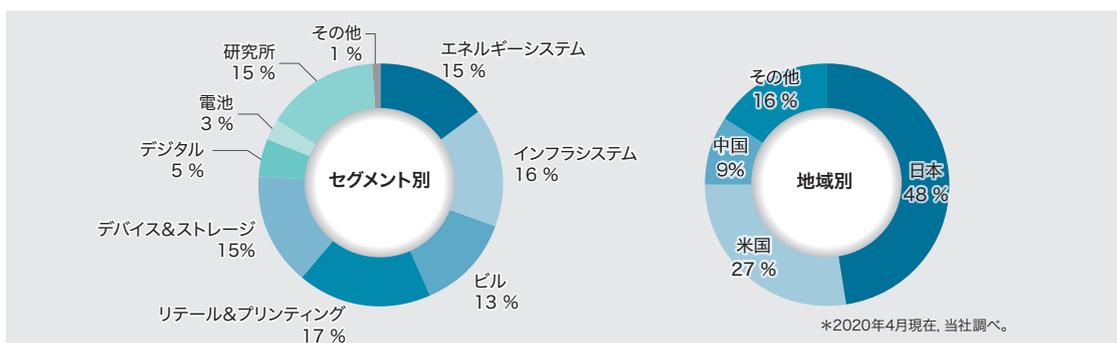


東芝グループは、知的財産を“事業活動や事業貢献のツール”と位置付けて、長年培ってきたフィジカルとサイバーの強みを支える知的財産力の強化を継続するとともに、オープン・クローズ戦略などCPS（サイバーフィジカルシステム）事業モデルに基づいた、知的財産視点の戦略構想力の強化にも取り組んでいます。今後も、研究開発の成果である知的財産の積極的活用を通じ、社会に新たな価値を提供していきます。

## ■ グローバル特許ポートフォリオ

東芝グループは事業ごとに最適なポートフォリオを構築しており、当社及びグループ各社が保有する様々な先端技術は社会的にも高く評価されている。



2020年のグローバル保有特許のポートフォリオ

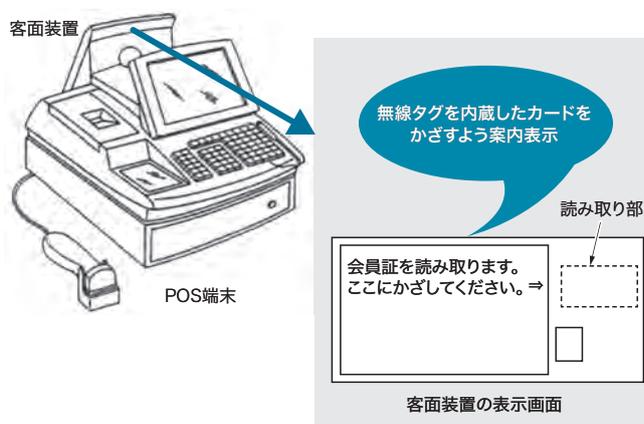
## 発明表彰

令和2年度関東地方発明表彰【静岡県知事賞】

### 無線タグ読取装置（特許第4181486号）

客面装置で会員証などのカードを読み取るPOS（販売時点情報管理）端末では、顧客が読み取り部にカードをかざす際の操作性が良く、ほかの無線通信との電波干渉による影響が少ないことが求められていた。

この発明では、カードの情報を読み取るタイミングを判断する手段を設け、読み取るタイミングであると判断した場合に、カードを客面装置の読み取り部にをかざすよう案内表示し、かつそのタイミングで読み取り部から電波を送信することで、操作性に優れ確実にカード情報を読み取れるPOS端末を実現できる。



受賞した発明の特長

## 「Derwent Top 100 グローバル・イノベーター 2020」に選出



米国調査会社クラリベイト・アナリティクス社が、特許データを基に知的財産動向を分析して選考する、世界で最も革新的な企業・機関のトップ100に、当社は9年連続で選出された。